

ユネスコ文学創造都市おかやま国際会議
事例発表

Silent Book Club

サイレントブッククラブ

守安涼 杉山沙織

●自己紹介

守安涼

吉備人出版（岡山市）で本の編集やデザインなどを手掛ける

おかやま文学フェスティバル実行委員

ポッドキャスト「おかやま文学創造ラジオ」パーソナリティ

文学創造都市おかやま発「ちいさな物語」マガジン『うったて』編集委員

作家・乗代雄介講師による写生文ワークショップ参加者有志の集まり「おかやま旅筆会」幹事

読書会 Silent Book Club OKAYAMA 主催

杉山沙織

TSUTAYA BOOKSTORE 岡山駅前 書店員

おかやま文学フェスティバル実行委員

コワーキングスペース Wonderwall コミュニティーマネージャー

読書会 Silent Book Club OKAYAMA 〈岡山駅前〉会場ホスト



地域密着の出版社で、本の編集やデザインなどを手掛ける

● 守安涼

Vol.3 WE LOVE LITERATURE!

おかやま文学フェスティバル

2025秋-2026春

2025秋 10/5-10/13 2026春 2/28-3/21

2/28(土) つぼた しょうじ **坪田譲治文学賞**

贈呈式・記念行事
会場：西川アイプラザ

2/11(水曜) **おかやまブックスタンド**

会場：岡山コンベンションセンター1階ロビー

初 読書ノート&スタンプラリー

3/7(土) 誰でも作れる、売れる、手作り本の販売会

ZINE スタジアム
会場：岡山ドーム

3/20(金祝) 3/21(土) 全国から出版社・書店・図書館・文学に関わる人々が集まる2日間

文芸手帖 販売価格：300円
販売場所：岡山市内の協力書店など。

文芸商店街 会場：表町商店街(上之町) しろちか広場

主催 岡山市・岡山市文学賞運営委員会・おかやま文学フェスティバル実行委員会



秋と春にブックイベントを開催する「おかやま文学フェスティバル」の実行委員

● 守安涼



ポッドキャスト「おかやま文学創造ラジオ」パーソナリティ

● 守安涼



文学創造都市おかやま発「ちいさな物語」マガジン『うったて』編集委員

● 守安涼



作家・乗代雄介講師による写生文ワークショップの作品集を制作

●杉山沙織



TSUTAYA BOOKSTORE 岡山駅前 書店員

●杉山沙織



coworking space Wonderwall コミュニティーマネージャー

①事業名

Silent Book Club OKAYAMA

サイレントブッククラブ岡山支部



OKAYAMA

②活動の目的、背景

目的

本好きが集まる場をつくり、読書好きを増やすことで、おかやまを文学のまちにする

背景

おかやま文学フェスティバルを秋と春に実施している。

イベント当日は本好きがたくさん集まって、とても賑やかで楽しいが、一時的なもの。

もっと日常的に、気軽に本好きが集まれる場があればと思っていた。

そこにサイレントブッククラブのコンセプトがフィットした。

Silent

BOOK CLUB



OKAYAMA

活動内容

サイレントブッククラブとは、みんなでカフェにあつまって静かに本をよむイベント。

Holiday sale! 15% off with code SBCHOLIDAY

Silent
BOOK CLUB

CHAPTERS ▾ RETREATS ▾ SHOP ▾ BLOG ABOUT US ▾ 10TH ANNIVERSARY


✉️ 📱 📷 📺 🔍 👤 🛒

WELCOME TO INTROVERT HAPPY HOUR

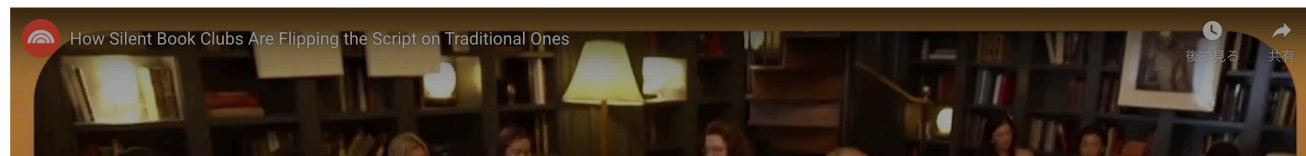
Silent Book Club is a global community of readers with 2,000 chapters in 60+ countries. There's no assigned reading — it's bring your own book.

More than a million members gather in person, online, and in destinations around the world to read together and swap stories. All readers are welcome!

[FIND YOUR CHAPTER](#)



As seen on... [The TODAY Show](#) [Oprah's Book Club](#) [People](#) [BBC](#) [USA Today](#) [TIME](#) [Good Morning America](#) [The New York Times](#)



2012年サンフランシスコ発祥で、友だち同士の女性二人が近所のバーで一緒に読書をするところから始まった。

キャッチコピーは、

- INTROVERT HAPPY HOUR (内向的な読書家のためのハッピーアワー)
- No homework. No small talk. Just reading with friends.
(課題も議論もない。あるのは、友だちと読む時間だけ)

趣味の集まりとしての読書会は、課題の本があって事前にそれを読んでおき、みんなでその本について感想などを話し合う、というスタイルが定番のようです。でも課題の本を読むのがたいへんだったり、気の利いたコメントをしないとイケないプレッシャーでストレスを感じることも。

一方、サイレント・ブッククラブでは、宿題なしで、参加者が自分の好きな本を持参して、友だちと飲みものをたのしみながら、1時間ほど黙々と読書をします。積極的に発言する必要もないので、内向的な読書家にもぴったりです。



Find Your Local Chapter

Find Chapters Near: 📍 My Location

Type of Chapter

Library School/University Bookstore Local Business (cafe, brewery, etc.) Online Gathering

The map displays chapter locations across 60 countries. Red circles with numbers indicate the count of chapters in each region. The highest concentration is in the United States (1.1k), followed by the United Kingdom (266) and France (220). Other countries with significant counts include Norway (41), Israel (5), and Australia (23). Smaller counts are shown for countries like Canada (4), Mexico (8), Brazil (3), and many others. The map includes a search bar, a 'My Location' button, and filter options for chapter types. A copyright notice at the bottom right reads '© ExpressMaps © OpenStreetMap contributors'.

現在では世界60か国に2000以上の支部があるグローバルなコミュニティに成長。

③いつから活動しているか、活動頻度

活動スタートまでの経緯

発端は2024年6月、岡山市文化振興課の「文学創造都市おかやま」の担当者が、同じユネスコ創造都市ネットワークに加盟しているイギリス・エクセターのアンナさんとオンラインミーティングで情報共有していたときに、サイレント・ブッククラブのことを教えてもらったことからはじまります。



いつから

2024年9月21日に岡山支部で初開催。

場所は表町商店街の酒屋さんが貸し出しているシェアスペース。

初回は土曜日の16時から。2回目からは月に一度、最終金曜日19時に開催。

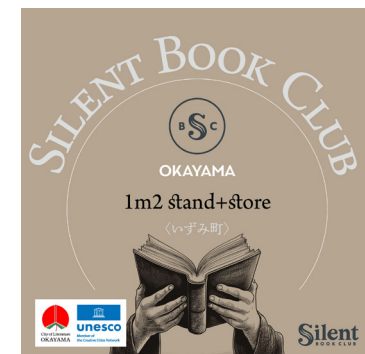
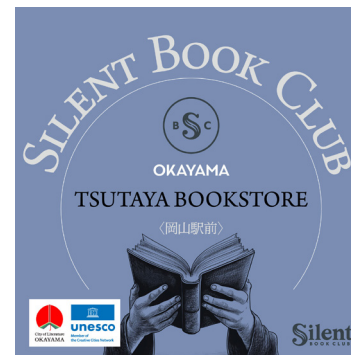
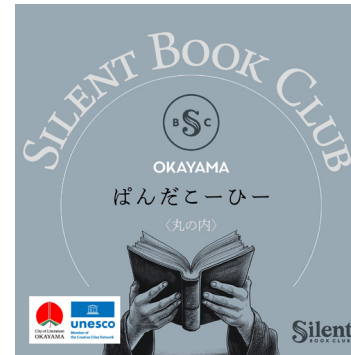
当初はこの表町会場だけだったが、たちまち人気になり、参加申込みが定員の10名では収まらなくなった。

知り合いのカフェなどに声をかけて、ホストになってもらえる会場をさがす。

サイレントブッククラブに参加してくれた方のなかで、カフェをやっていたり開催できる場所をお持ちの方が、「じぶんのところでもやりたい」と声をかけてくれるように。

現在、7会場で開催中

表町、丸の内、磨屋町、玉野、岡南、いずみ町、岡山駅前











岡山支部以外の支部も岡山県内に増えている

玉島、奉還町、備前、

赤磐、ほたる（子ども図書館）

Find Chapters Near: 📍 My Location

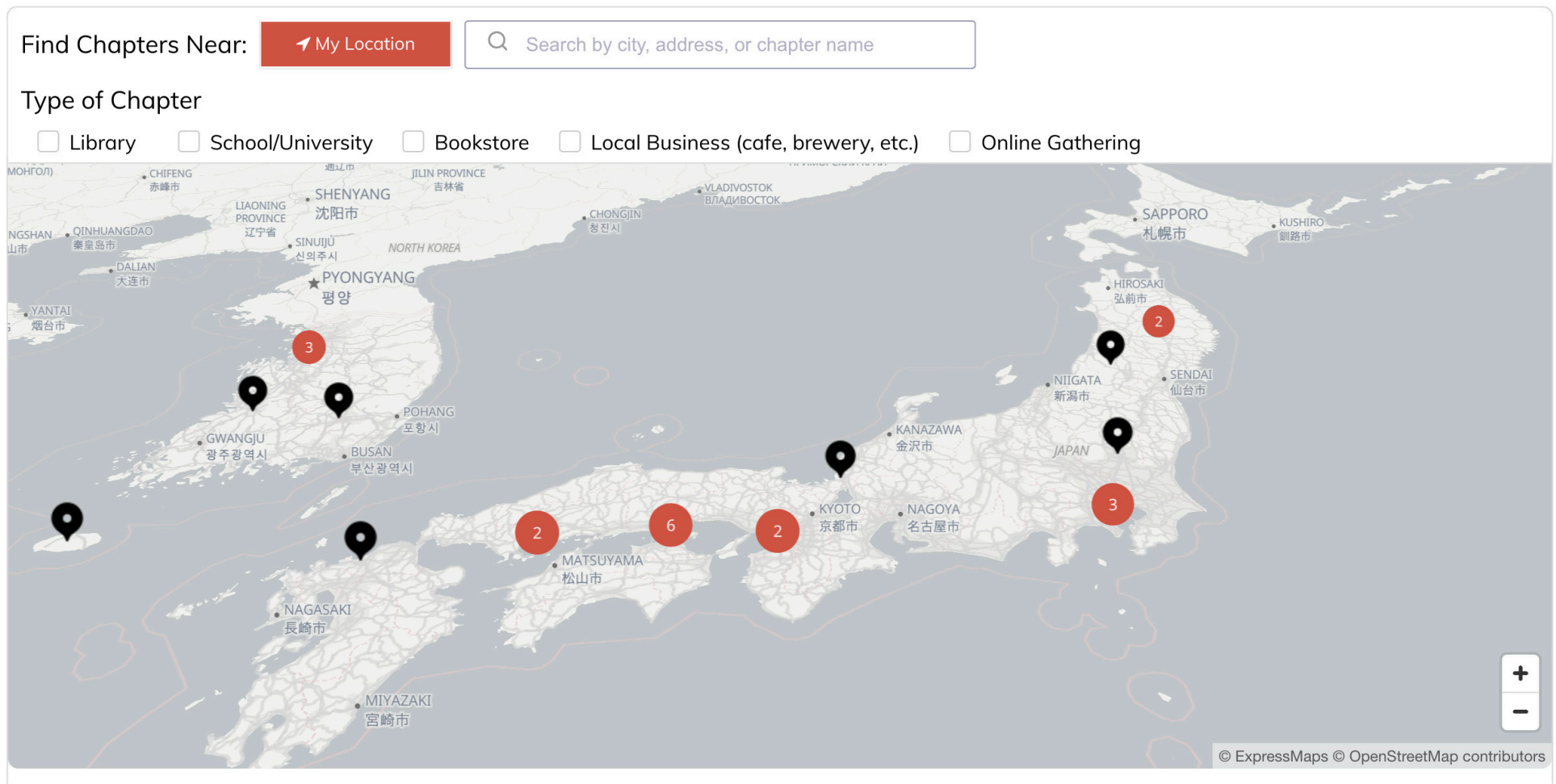
Type of Chapter

Library School/University Bookstore Local Business (cafe, brewery, etc.) Online Gathering

© ExpressMaps © OpenStreetMap contributors

福岡や広島、宇都宮など、県外からも問い合わせがあった。岡山支部スタート時、全国で3か所だけだった日本の支部も20支部にふえた。

岩手 みちのく 山形 宇都宮 墨田 井の頭 二子新地
敦賀 京橋 神戸 讃岐 広島 岩国 福岡



活動頻度

各会場で月に一度

Instagramで開催告知。DMや申込フォームで参加受付。
岡山支部のInstagramアカウントで活動を知ったという
参加者がほとんどを占める。



④活動しているプレーヤー

ホストはカフェやシェアスペースのオーナー、書店員（書店内にカフェスペースがある）

参加者は各会場10名程度、多いときで35人が集まる会場も

参加者は高校生から年配の方までさまざま。女性が多い傾向

会場ごとに常連があつまるとようになってきている

参加者の声

「読書の習慣をつけたいと参加した」

「家で一人だけで読むのとくらべ、不思議なほど集中して読むことができる」

「みんなで読んでいると安心感がある」

「飲み物を楽しみながらリラックスできる空間がうれしい」

「ほかの人が読んでいる気配が居心地良い」

「課題やコメントの必要がなく、ハードルが低いのがよい」など

⑤課題と今後のビジョン

参加者の“次の一歩”の設計

- ・読書の場としては満足度が高い一方で、そこから先の関わり方は参加者任せ
 - 読書会を起点に、書店、図書館、文学フェスティバルへと自然につなげる
 - 「読む人」が「まちの文化の担い手」へと育っていく循環をつくる

世代・属性のさらなる広がり

- ・若い女性だけでなく、男性や子育て世代にも参加しやすい会に
 - 時間帯・場所の多様化で、さまざまな生活リズムの方に入り口がある読書会に

活動規模拡大に伴う「質」の維持

- ・会場ごとに運営内容にばらつきがでる
 - どの会場に行っても安心して参加できるような雰囲気づくり

ホスト・運営側の持続可能性

- ・運営が善意と熱意に依存しており、ホストの負担の心配も
 - ホスト同士でつながって情報共有し、無理なく続けられる仕組みづくり